

木造住宅耐震診断支援ソフトにいがた2012 入力操作方法

Q&A

平成26年10月31日

- (平成26年11月11日 Q2-3追記)
- (平成27年01月08日 Q4-7、Q4-8追記)
- (平成27年02月13日 Q4-9追記)
- (平成27年06月01日 Q1-1修正、Q4-10追記)
- (平成27年06月08日 Q3-5追記、Q4-7修正)
- (平成27年06月15日 Q4-4修正)

1. 基本事項と事前操作

Q1-1 WindowsのOS及びエクセルのバージョンに制約はありますか？

2. パスワード・名前の入力及び初期データの入力等

Q2-1 パスワード・名前の入力をしても、エラーになってしまいます。

Q2-2 複数の市町村に登録番号持っている診断士の方の、登録番号の変更方法について。

Q2-3 日本語入力システム「ATOK」で入力出来ますか。

3. 耐震診断計算の開始(計算編)

Q3-1 有開口壁評価時における無開口壁について。
(建築防災協会Q&A、P26 に有開口壁として評価するには、
すくなくとも片側に耐力評価できる無開口壁があることを前提とするとある。
この無開口壁の壁基準耐力に何か規定があるのか。)

Q3-2 既存のラスボードを評価する際に、床から天井までの間に長押がある場合と、長押が無い場合(床の間など)は、同じ1.0kN/mで評価出来ますか？

Q3-3 ラスボード+しっくい1.30kN/mの耐力評価ですが、
ラスボード+(プラスター、京かべ、繊維かべ等)の場合は、
どの程度の評価と考えれば良いでしょうか？

Q3-4 入力途中で、入力フォームが消えてしまい先に進めません。

Q3-5 「建物概要」フォームの建物高さ及び「無開口耐力壁」フォームの内法高は、
入力の必要はありますか？

4. 耐震診断計算の開始(操作編)

Q4-1 耐震診断報告書の2P(印刷項目名:耐震診断報告書)、
【耐震診断概要】の「地盤」の項目が表示されない。

Q4-2 印刷項目名:必要耐力の計算
2)耐力要素の配置等により低減係数用必要耐力の算定表内の
床面積が計算されない部分がある。

Q4-3 「オーバーフローしました」とエラー表示が出ます。

Q4-4 配置による低減係数の計算が出来ない。

Q4-5 現地調査票を診断ソフトで読み込むとデータが反映されますが、
修正した現地調査票を再度読み込むと反映されないページがある様です。

Q4-6 壁配置による低減係数の算定のページに、図が表示される。

Q4-7 平屋建ての診断計算書作成手順について。

Q4-8 「耐震診断を開始する」がクリック出来ません。

Q4-9 既存ファイルのデータ読み込みについて。

Q4-10 偏心による低減係数の計算ができない。
評点の低減係数を計算すると「実行時エラー ‘13 型が一致しません」、
「実行時エラー ‘11’:0で除算しました」等のエラー表示が出ます。

5. 報告書の作成

- Q5-1 耐震診断報告書の表紙に、依頼者のお名前が表示されません。
- Q5-2 耐震診断報告書の2P(印刷項目名:耐震診断報告書)、中段部分の文章
『平成〇〇年〇月〇〇日に依頼を受けた建物
(所在地:〇〇市〇〇町1丁目1番1号)について診断した結果を、
下記のとおりご報告いたします。
なお、この報告書は調査時点での診断結果ですので、
その後の経年劣化等に対しては十分な維持管理をお願いします。』
が表示されない。
- Q5-3 耐震診断報告書内の図面のサイズを調整出来ますか？
(建物の大きさによって、用紙に入らなかったり、
小さすぎる場合、調整する事が出来ますか？)

1. 基本事項と事前操作

| | |
|------|----------------------------------|
| Q1-1 | WindowsのOS及びエクセルのバージョンに制約はありますか？ |
|------|----------------------------------|

- A ソフトはvista(アップグレード版)/Windows7/Windows8で、
エクセル2007/2010/2013での作成・確認を行っています。
(※Windows版のみ。)
(※パソコン環境によっては作図のズレが生じる場合があります。)

2. パスワード・名前の入力及び初期データの入力等

Q2-1 パスワード・名前の入力をして、エラーになってしまいます。

- A CDに付いている「パスワード・名前」の通りに入力して下さい。
特に登録者名の苗字と名前の中の全角空白や、
パスワードの数字とアルファベットを間違えない様にして下さい。
アルファベットは全て大文字で入力して下さい。
間違えの無いものをワード、エクセル、メモ帳等に記録し、
貼り付け(キー操作 Ctrl V)を使用すると便利です。

Q2-2 複数の市町村に登録番号持っている診断士の方の、
登録番号の変更方法について。

- A 初期データ新規入力のフォームにおいて、登録番号の変更が出来ます。
例えば、「H26-***」の診断士が、
別市町村の登録番号「n-001」で診断を行う場合は以下の手順で行います。

- ① フォーム「計算書作成項目」 ⇒ 初期データの入力
↓
- ② フォーム「初期データ新規入力」
↓
- ③ 耐震診断者1登録番号の変更
↓
- ④ 「n-001」をテキストボックスに入力します
↓
- ⑤ **登録番号を変更する**を指示します

また、印刷は、変更番号で印刷されます。

Q2-3 日本語入力システム「ATOK」で入力出来ますか。

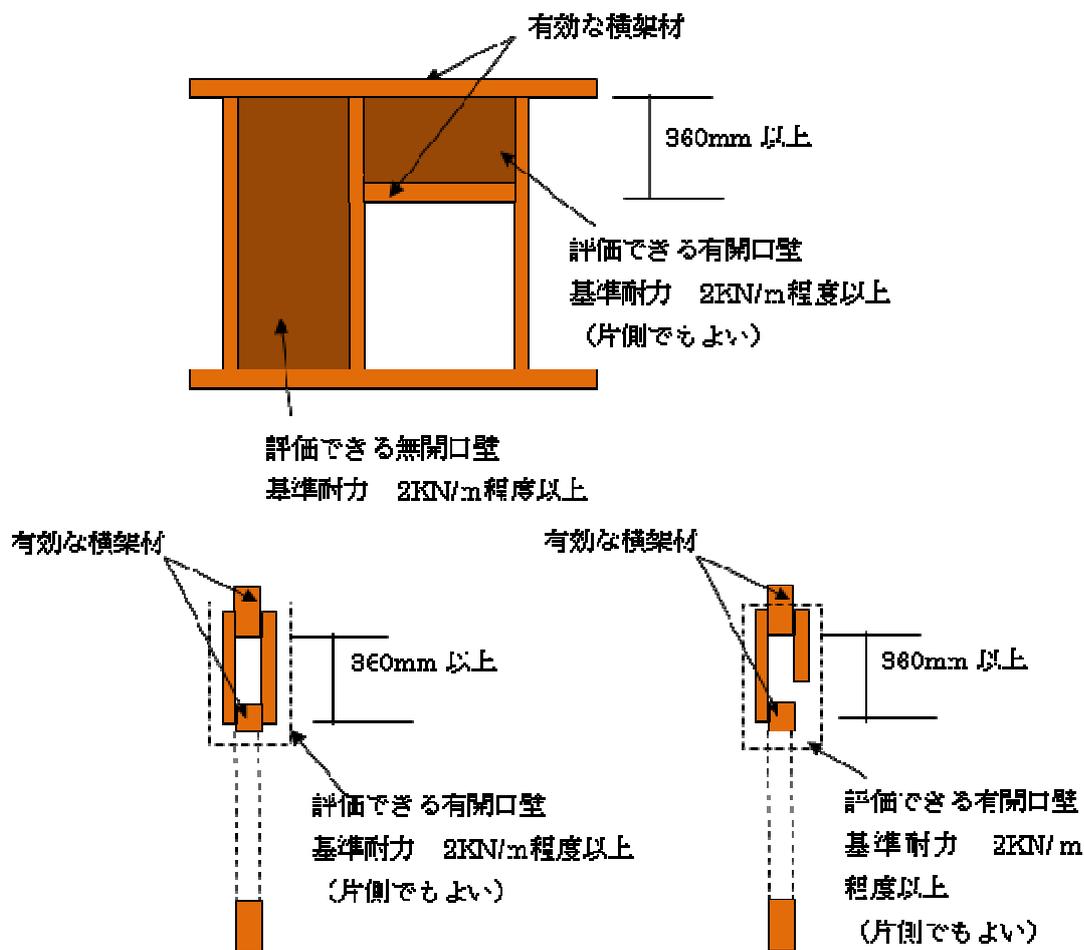
- A 日本語入力システム「ATOK」では入力出来ません。
「Microsoft office IME」を設定して入力して下さい。

3. 耐震診断計算の開始(計算編)

| | |
|------|---|
| Q3-1 | 有開口壁評価時における無開口壁について。 (建築防災協会Q&A、P26 に有開口壁として評価するには、 すくなくとも片側に耐力評価できる無開口壁があることを前提とするとある。 この無開口壁の壁基準耐力に何か規定があるのか。) |
|------|---|

- A 評価できる無開口壁の耐力については、定量的には定められていない。
一方、評価できる有開口壁（床から天井までの間に窓や扉などを有する壁）は、
- 垂れ壁の高さが360mm以上。（青本 p 35）
 - 内外壁の基準耐力（軸部も含む）が2.0kN/m程度の耐力壁であること。
（青本 p42）
 - 上下に有効な横架材がある。（建築防災協会Q&A 3.70）
を前提としている。

これらのことより、有開口壁の前提に合わせて、
耐力評価できる無開口壁は2.0kN/m程度（例えば、合板が内外に貼られた壁）
の耐力壁であることとする。
なお、有開口壁の基準耐力は片側あるいは両側で2.0kN/m程度以上であれば
よいこととする。



Q3-2 既存のラスボードを評価する際に、床から天井までの間に長押がある場合と、長押が無い場合(床の間など)は、同じ1.0kN/mで評価出来ますか？

A 床から天井まで所定の仕様で連続して貼られていれば、1.0kN/mで評価出来ます。

Q3-3 ラスボード+しっくい1.30kN/mの耐力評価ですが、ラスボード+(プラスター、京かべ、繊維かべ等)の場合は、どの程度の評価と考えれば良いでしょうか？

A 青本の仕様がないものは、原則として評価出来ません。したがって、ラスボードのみで評価します。

Q3-4 入力途中で、入力フォームが消えてしまい先に進めません。

A 下のタグの左端の「<<」を押し、「耐震診断開始」の「耐震診断を開始する」から始め、パスワードを入力し、次に再度今行っていたところまで戻ります。入力データは、エラー直前まで残っています。

Q3-5 「建物概要」フォームの建物高さ及び「無開口耐力壁」フォームの内法高は、入力の必要はありますか？

A 耐震診断においては高さの入力の必要はありません。

※ ただし、軸組図およびN値を暫定的に計算する場合は必要です。その際、無開口耐力壁フォームの内法高の入力は、建物概要の高さ入力時と違う場合は入力して下さい。

4. 耐震診断計算の開始(操作編)

Q4-1 耐震診断報告書の2P(印刷項目名:耐震診断報告書)、
【耐震診断概要】の「地盤」の項目が表示されない。

- A ソフトに書き込みのずれが生じている為、現状では表示されていません。
→ 手書きでの記入対応として下さい。
【建物概要、敷地の状況】の「地盤」の項目では表示されています。

※修正データを御希望の方は、
(一社)新潟県建築士会事務局までメールでお知らせ下さい。
折り返し、データを添付致します。

Q4-2 印刷項目名:必要耐力の計算
2)耐力要素の配置等により低減係数用必要耐力の算定表内の
床面積が計算されない部分がある。

- A 四分割線に面積データがのっている為、このような現象が生じますので、
面積データをずらすことで解消出来ます。

Q4-3 「オーバーフローしました」とエラー表示が出ます。

- A 壁データ入力で計算途中で終了ボタンを指示するとエラーになります。
ソフトでは剛心を自動計算するため途中で終了いたしますと、
剛心計算で分母が0のところが生じてしまいエラーとなります。
計算を打ち切る場合は、強制終了(フォームの×で終了)します。

Q4-4 配置による低減係数の計算が出来ない。

- A 建物概要で床の仕様が以下のもの以外を入力した場合、計算しません。
・合板
・火打ち+荒板
・火打ちなし

Q4-5 現地調査票を診断ソフトで読み込むとデータが反映されますが、
修正した現地調査票を再度読み込むと反映されないページがある様です。

- A 現地調査票に係る部分は、診断ソフトの方で手入力での修正出来ます。

Q4-6 壁配置による低減係数の算定のページに、図が表示される。

A 重心・剛心の作図において、1階(あるいは2階)の平面図を表示しないで、作図を指示したことが原因です。

◆ 間違った手順

- ① 階のオプションボタン指示
- ② 作図ボタン指示
- ③ 壁配置による低減係数の算定のページに作図する

◆ 正しい手順

- ① 階のオプションボタン指示
- ② 階指定ボタン指示
- ③ 指定した階のワークシートが表示
- ④ 作図ボタン指示
- ⑤ 重心・剛心が作図される

※ 一度作図したものは、
「検索と選択」
↓
「オブジェクトの選択」で、
消去したい図を指定して『Deleteキー』で削除出来ます。

Q4-7 平屋建ての診断計算書作成手順について。

A 平屋建ての書式は下記の手順で行って下さい。

- ① 「初期データの入力」を指示する
- ② 「平屋建て計算書」を指示する
- ③ 「はい」を指示する
平屋建ての書式になる。
「いいえ」の場合は2階建ての書式になる。

※下記につきましては、
改ページの都合で白紙印刷されます。
・壁強さの計算(積雪有、積雪無)
・剛心の計算(積雪有、積雪無)



※木耐診2012V101.xlsb
(Ver.1.1.1 平成27年3月更新)
においては改定されています。

Q4-8 「耐震診断を開始する」がクリック出来ません。

A Windowsのアップデートに伴う、ソフトの変更を行いました。

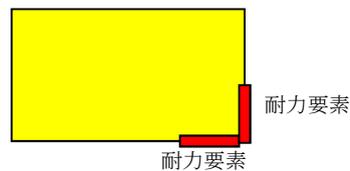
※修正データを配布しますので、
(一社)新潟県建築士会事務局までメールでお知らせ下さい。
折り返し、データを添付致します。

Q4-9 既存ファイルのデータ読み込みについて。

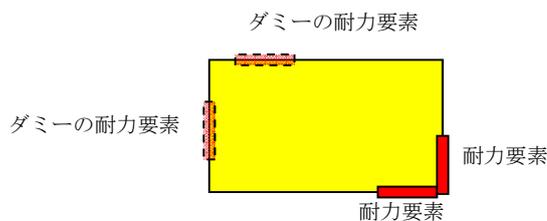
- A ① 既存データのファイルを開いて下さい。
↓
② 木造住宅耐震診断支援ソフト2012も開いて下さい。
「耐震診断を開始する」 → フォーム「パスワード」にパスワード・名前を入力する。
↓
③ フォーム「計算書作成項目」、ファイルの読み込み:既存ファイル名(読み込み)に
既存データのファイル名を**正確**に入力して下さい。
※(拡張子.xlsb)まで入力して下さい。
↓
④ 「書き込み実行」をクリックするとデータを読み込みます。

Q4-10 偏心による低減係数の計算ができない。
評点の低減係数を計算すると「実行時エラー ‘13 型が一致しません」、
「実行時エラー‘11’:0で除算しました」等のエラー表示が出ます。

- A 図のようにX方向・Y方向ともに一つの通りのみに耐力要素が存在する場合、
弾力半径が0となり、偏心率の計算で0/0となってしまいます。



対処法としては、上記通り以外に非常に弱い壁(基準耐力0.1kN/m程度以下)を
設けることにより計算します。



5. 報告書の作成

Q5-1 耐震診断報告書の表紙に、依頼者のお名前が表示されません。

- A ① フォーム「計算書作成項目」 ⇒ 初期データの入力
↓
② フォーム「初期データ新規入力」 ⇒ 建物の種類等
↓ 建物の名称
③ ○○ ○○ 邸 (依頼者のお名前を入力)

Q5-2 耐震診断報告書の2P(印刷項目名:耐震診断報告書)、
中段部分の文章
『平成○○年○月○○日に依頼を受けた建物
(所在地:○○市○○町1丁目1番1号)について診断した結果を、
下記のとおりご報告いたします。
なお、この報告書は調査時点での診断結果ですので、
その後の経年劣化等に対しては十分な維持管理をお願いします。』
が表示されない。

- A ① フォーム「計算書作成項目」
↓
② フォーム「報告書の作成」
↓
③ 「日付」を入力
「所在地等を入力する」をクリック
「入力・更新」をクリック

| | |
|------|--|
| Q5-3 | 耐震診断報告書内の図面のサイズを調整出来ますか？ (建物の大きさによって、用紙に入らなかったり、 小さすぎる場合、調整する事が出来ますか？) |
|------|--|

A 耐震診断報告書内の図面のサイズは出来る限り大きくして下さい。

◆ 印刷項目4～5の場合:平面図1,2階 (略平面図および壁伏図(1,2階壁伏図))

- ① フォーム「計算書作成項目」 ⇒ 耐震診断計算
- ↓
- ② フォーム「耐震診断計算メニュー」 ⇒ 床平面図の作成
- ↓
- ③ フォーム「建物形状の入力」 ⇒ 入力階指定
- ↓
- ④ 図を削除
- ↓
- ⑤ 作図倍率の変更
- ↓
- ⑥ 作図

◆ 印刷項目20～21の場合:1,2階耐力図 (壁耐力図(1,2階))
印刷項目22～23の場合:接合部図1,2階 (1,2階接合部図)

- ① フォーム「計算書作成項目」 ⇒ 耐震診断計算
- ↓
- ② フォーム「耐震診断計算メニュー」 ⇒ 壁・柱耐力の入力
- ↓
- ③ フォーム「壁強さの計算」
- ↓
- ④ 接合部種類図
壁耐力図
- ↓
- ⑤ ○階の指定:確認する
- ↓
- ⑥ 作図倍率の変更:作図する